



コモンズ30 +しづぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2019年12月30日付)

基準価額	13,181円
純資産総額	770百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています
(後述の「コモンズ30+しづぎんファンドの費用について」をご覧下さい)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265% (消費税込)です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.7%	▲0.7%
静岡銀行株式	7.8%	▲0.3%
現金等・その他	0.5%	0.9%
構成銘柄	31社	0社

● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	第2期 (2016年12月19日)	第3期 (2017年12月18日)	第4期 (2018年12月18日)	第5期 (2019年12月18日)
0円	0円	0円	0円	0円

◆当ファンドは、2019/12/18に第5期の決算を迎えました。分配金は0円とさせていただきました。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

● 基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2019年12月30日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
1.71%	8.09%	11.38%	16.84%	19.89%	33.46%	31.81%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎ 12月の個別銘柄リターン

12月のマザーファンドの月間リターンは、2.18%の上昇、当ファンドの月間リターンは1.71%の上昇となりました。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は▲1.80%の下落でした。

◎ 運用責任者メッセージ

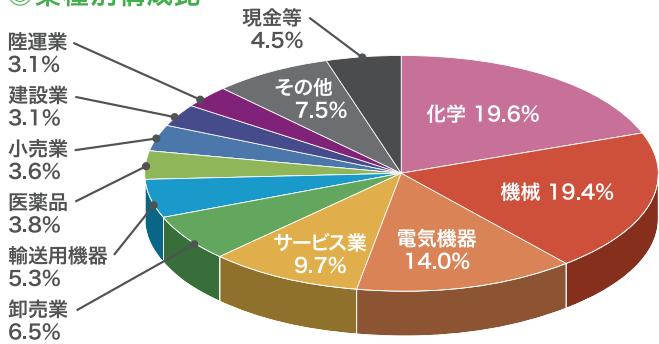
12月期の内外金融市場は、米中貿易摩擦問題の好転、英国総選挙での保守党の大勝など、これまでの懸念要因が一時的に複数解消してきたことを好んで世界的な株高となりました。国内株式市場も、米国株の主要指数が史上最高値を更新しつづけたことなどから小幅ながらも上昇しました。特に世界的な景気回復期待から景気敏感株が好調でした。コモンズ30マザーファンドは月間で+2.18%の上昇、投資先30銘柄中22銘柄が値上がりとなりました。同期間のTOPIX(東証株価指数:配当込)は+1.45%、日経平均株価も+1.56%の上昇でした。

2020年も先進国では中央銀行による緩和的な金融政策が続けられる中で、世界的な景気回復を確認しながらの株価上昇を見込んでいます。引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲郎

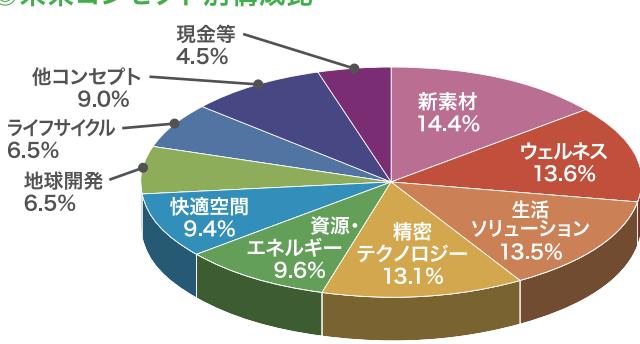
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2019年12月30日付)



● 比率は純資産総額を100%として計算しております。

● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2019年12月30日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4523	エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	3.8%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.8%
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする	3.7%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.7%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.6%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.6%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.6%
3382	セブン&アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	3.6%
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.6%
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.6%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック！

◎(1963)日揮HD

12月は日揮HDの株価が+10.31%と大幅上昇しました。原油価格の上昇傾向に加え、業績回復期待が好材料となりました。同業他社の多額損失などでプラント業界の動向に懸念が広がっていますが、同社に関してはプロジェクトの管理能力が高く、着実に利益を積み重ねていくことができるといわれます。日揮HDの2020年3月期上期の売上総利益率は8.3%と、通期の会社計画(8.0%)を上回る進捗となっています。受注確保済みの案件は潤沢で、2021年3月期からは売上拡大と低採算案件減少による売上総利益率上昇の好循環が見込まれます。中東情勢への留意は必要ですが、一方で、今期から来期にかけて、モザンビークLNGプラント、フィリピン向けLNGターミナル、イラクのバスク製油所近代化プロジェクト、サウジアラビア向けガス処理、国内バイオマス案件、パプアニューギニアLNGプラントなど受注期待が高まる案件も豊富にあります。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎(8113)ユニ・チャーム

2019年12月期第3四半期決算では、中国向けEコマースにおける販売促進費の増加などにより利益的にはやや苦戦している印象を受けました。中国においては、子供用紙おむつ市場での競争はかなり激化してきていますので、ここをさらに伸ばしていくというよりも、足元で高成長を続けている女性用生理用品や、急激に需要が高まってゆくであろう大人用紙おむつといった製品が成長を牽引できるかどうかに注目しています。また、海外ではそれぞれの市場における独自の商品開発にも注力していますので、ローカルのヒット商品が続々と生まれてくることにも期待しています。尚、3月16日に開催するコモンズ30塾では、同社から使用済み紙おむつリサイクルの取り組みについて紹介いただく予定です。使用済み紙おむつをもう一度紙おむつ素材に再生するという、世界初の画期的な技術に触れることのできる貴重な機会ですので、是非ともご参加いただければと思います。

アナリスト 原嶋 亮介

◎(2802)味の素

12月12日に、味の素主催の西井社長による機関投資家向けスモールミーティング(少人数で行うミーティング)が開催され、参加させて頂きました。当該スモールミーティングは概ね半年毎に定期的に開催されています。味の素はいわゆる“ESG”的観点から、非財務に関わる事業活動にとても熱心な会社で、中期経営計画では非財務の目標をKPIとして数値で掲げています。コモンズ投信では同社のこうした取り組みについて、継続的な企業の成長を下支えするものであり、他社に先駆けた先進的な取り組みとして高く評価しています。足元では、来年度から始まる次期中期経営計画の中で重点事業への選択と集中を掲げ、構造改革に踏み込むことを公表しています。スモールミーティングはQ&Aの形式で行われ、投資家から時には厳しい質問が飛び出しますが、西井社長は丁寧に説得力のある説明で回答しました。コモンズ投信では、海外におけるこれまでの業績下押し要因となった事案等に対する今後の抜本的な取り組みについて確認することが出来、有意義なミーティングとなりました。全般的に、西井社長の熱意と緻密な経営戦略を感じることが出来たミーティングでした。これから構造改革が本格的にスタートしますので、一旦は収益性が落ち込むことが想定されますが、その後の飛躍に大いに期待しています。

シニア・アナリスト 末山 仁

● こどもトラスト

こどもトラストセミナー寄付の教室と論語と算盤

～寄付月間2019公式認定企画～

毎年12月恒例となりましたこどもトラストセミナー「寄付の教室」を今年は特別バージョンで開催しました。お子さんたちがお金や寄付について学んでいる間、大人の方向けに会長渋澤による「論語と算盤」の時間を設けさせていただきました。民間学童保育 ウィズダムアカデミーと新生企業投資さまに共催いただき開催した今回の「寄付の教室」には、17名の子どもたち(年長～小5)が参加、大人の方までいれると40名程の参加者となり、会場はいっぱいに。子どもたちは、お金について、寄付について考え、最後には自分が選んだ寄付先と選んだ理由、そして自分がお金をもっていたら何にどう使うか、それはなぜか、を保護者の方に向けて発表しました。今回の寄付先候補は、世界から児童労働をなくそうと活動するACE、日本野鳥の会、セカンドハーベストジャパン。「とりは、いのちがあって、にんげんもいのちがあるから、おたがいたすけあわないといけない」といって野鳥の会を選んだ子がいたり、「こまっている人のやくにたちたいから」という理由でセカンドハーベストジャパンを選ぶ子がいたり、全部を選びたいとした子どもたちもいました。そして、保護者の方からはこんな感想をいただきました。「当然のことながら、小さい子どもでも自分の意見をしっかり持てることに、単純に感動してしまいました。そうやってはっきり意志を持ち、恥じずに発信していく人になれるような教育環境が大事だと感じました。」「今恵まれた環境にいる自分が、社会の課題に対してできることは何かを考え、できること、やりたいことを続けていきたいと思いました。本当は目をそらしてはいけない課題がたくさんありますが、子どもと一緒にじゃなから昨日も向き合えなかったと思います。大人にこそ学びが多いようにも思いました。素晴らしい機会を有難うございました。」



恒例のクリスマス会では「健さんサンタ」から、寄付つき商品のプレゼントをもらった子どもたち。何を買うかを選ぶことでも、だれかの役に立てる、お金の使い方についても改めて考えてもらうことができました。

当日の様子はこちらのブログをご覧ください。<https://park.common30.jp/2019/12/blog-post.html>

こどもトラストセミナーでは、寄付や投資というお金とのつき合い方を知ることで、お子さんたちの視野が広がる瞬間を見ることができます。そして、子どもたちは、自分たちの中にある「だれかのためにになりたい」という気持ちを自覚し、例え自分の力が小さくとも、ひとりだけではなくみんなが力を合せれば、放っておきたくない課題と一緒に解決することができることを実感します。お子さんたちの「未来を信じる力」に繋がるこの時間を、今後も大切にしていきたいと思います。

マーケティング部 馬越 裕子

● ちょっといい話

【明けましておめでとうございます!】

12月、皆さまのおかげを持ちまして、『コモンズ30+しづぎんファンド』の第5期の決算を迎えることが出来ました。改めて役職員一同、心から感謝申し上げます。さて、時代は平成から令和に変わり、2020年を迎えました。

いよいよ今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。私たちは、2020年を起点として日本が大きく変わる、新しい国づくりに向かうと考えてきました。しかも、そのトレンドは30年周期で2050年まで続く。前回、日本を大きく変えた国づくりは、1960年から1990年までの戦後の高度成長期で30年間続きました。戦後の焼け野原から、世界第2位の経済大国まで駆け上がった日本は、世界から東洋の奇跡とさえ言われました。丁度、その時期をシンボリックに現わすイベントが1964年の東京五輪、1970年の大阪万博でした。この時期に活躍された文化人の岡本太郎さん、コシノジュンコさん、丹下健三さんがその後世界で活躍し、企業経営者では盛田さんがソニーの社長に就任したのが1971年、稻盛さんの京セラが上場したのが1971年、永守さんが日本電産を起業されたのが1973年です。いずれもやがて日本を代表する企業に成長されました。文化人も企業経営者も大きなイベントに心躍り、パッションが高まっていたのでしょう。そして、いよいよ歴史の韻を踏むように、2020年 東京オリンピック・パラリンピック、2025年大阪・関西万博、2027年リニア新幹線開業へと続いていきます。今回の国づくりはモノの豊かさを実現した高度経済社会の実現とは違い、ココロの豊かさを高齢化社会の中で実現していくことになると思います。高齢者も外国人も口ボットも快適に活動する共生社会の実現、SDGsの先進国としてサスティナビリティをリードする国に変化していくのではないかでしょうか。私が日ごろお会いする企業経営者も文化人も、こうした方向性にパッションが高まっていると感じています。引き続き、皆さまのお役に立てるように新しい時代でも持続的な成長を続ける企業への投資を丹念に続けてまいります。本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しづぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○		

● コモンズ30+しづぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さんに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）
03-3221-8730

■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>